

会 議 記 録

政策企画局 市民参加・協働推進課

開催日	平成 25 年 3 月 26 日(火)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 30 分
会議名	上田中央地域協議会 (平成 24 年度第 12 回)		
出席者	浅井委員、飯島委員、尾沼委員、神林委員、栗内委員、栗田委員、佐藤委員、塩入委員、藤川委員、松澤委員、宮坂委員、宮本委員、村上委員、山浦委員、渡邊委員 (欠席委員) 河田委員、久保田委員、中村彰委員、宮島委員、矢島委員 (事務局) 神林地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進課長補佐、堀内市民参加・協働推進課主査 (説明者) 藤沢地域交通政策課長、柳沢地域交通係長 小野塚教育総務課長、小林教育施設整備担当係長		
会議次第	1 開会(事務局) 2 会長あいさつ みなさんこんにちは。桜のつぼみがふくらみ始め、今年は例年より早く桜が咲きそうで、春はすぐそこまできているようです。本日は協議事項とわがまち魅力アップ応援事業の審査があり、時間も限られていますので、早速進めてまいりたいと思います。 3 協議事項 (1)上田市運賃低減バス運行計画(案)について 地域交通政策課： 上田市路線バス運賃低減について、お手元の資料に沿って説明します。(資料を基に説明) 委員： 車椅子の方も乗ることができるよう運行バスのスロープ化は可能か。 担当課： ノンステップバスの導入について、上田市では市街地に乗り入れるバスの中に山間地を走る場合があり、路線が急傾斜の道路の場合もあるので、現時点では未導入となっています。今後、運行ルートが市街地に限定される路線でそういった皆さんについても利用可能な車両の導入ができないか事業者と検討をしてまいりたいと思います。		

委員： この見直しの本当の目的はどうか。市からの補助金を減らすことが、補助金が増えてもバス路線を維持していくことが。

担当課： バス路線の維持が目的です。

委員： これまでの運行に対する補助ではなくて、乗った人に対する補助を実施するということで理解すればよいか。

担当課： 同じ補助をしようという発想ではなく、例えばこれまでは3人の利用者に対して支払っていた補助と同じ補助をするのであれば、より多くの方に乗っていただいて10人に利用してもらおうというような変更と考えていただければと思います。

委員： 利用者にとっては安く乗れることは歓迎できるのですが、利便性ということを見ると運行回数を増やしたり見直したりということも必要なのではと考えますがどうでしょうか。

担当課： 基本的には現行の便でまずは運賃の改正を進めたいと思いますが、今後、運行をしていく中で利用者の状況や意見等をお聴きしていきながら、状況を踏まえて運行時間や運行回数等についても検討をしてみたいと思います。

(2)第二中学校改築事業について

教育総務課： それでは資料を基に説明します。(資料を基に説明)

委員： 工事期間中、工事車両の出入り口は上田高校と市役所との間の道になると思いますが、工事の時間帯や通学路の危険性についての対策は大丈夫ですか。

担当課： 時間帯によっては大型車両が出入りする場合がありますが、安全対策等十分配慮して行う予定であります。

委員： 上田高校の送迎のバスもあの道を使っているの、渋滞など起きないように配慮していただきたい。

担当課： 承知しました。

会長： 以上で協議は終了します。

(3)わがまち魅力アップ応援事業の審査

事務局： 審査にあたりまして、少し説明させていただきます。(審査方法の説明)

わがまち魅力アップ応援事業 審査会

それでは、審査会を始めたいと思います。

【申請者 1】

説明者： まちなかいきいきコミュニティづくり事業です。お願いします。(説明)

会長： 何か質問ありますか。

委員： 高齢者の参加が少ないようですが、対応はどうなっていますか。

申請者： 月に一度のお話の場をもっておりますが、まだまだ今後の課題として取り組んでまいります。

委員： 駐車場の確保はどうなっていますか。

申請者： いろいろ考えてはいますが、近くの駐車場を利用してもらう予定です。

委員： 講師の謝金等が計上されていますが、この目的は何ですか。

申請者： 講演、講義をして、人とのつながりを図ることが目的です。

会長： ありがとうございます。時間になりましたので以上で終了します。

【申請者 2】

事務局： 続いては、絹の文化常田館です。

申請者： 絹の文化常田館です。説明します。(説明)

会長： 何か質問ありますか。

委員： PR方法としてはどのような方法を考えていますか。

申請者： 新聞・広報・パンフレット等で呼びかけていきます。

委員： 観光ボランティアの要請を考えているとありますが、具体的にどのような考えですか。

申請者： 自治会の方や、地域の方々に製糸の件を理解していただき、納得したうえで参加を呼びかけて行きたいと考えています。

会長： 他にありますか。なければ以上で終りたいと思います。

【申請者 3】

事務局： 続いて、戦国茶屋 海野です。

申請者： 戦国茶屋 海野です。よろしくお願いします。(説明)

会長： 何か質問ありましたらお願いします。

委員： 年2回の開催は少ないと思いますが、何故ですか。

申請者： 毎回新規にスタッフに対して講習等を行います。歴史や振る舞い等教えていますので、時間も必要になり、完成度の高いイベントを提供したいという思いから、年2回位になってしまいます。

委員： PR方法はのでしょうか。

申請者： 主にインターネットを活用してPRをしています。

委員： この時期にした理由はありますか。

申請者： 陣幕等を借りるのに、空いている時期だったからです。

会長： 以上で終了します。ありがとうございました。

【申請者 4】

事務局： 続いては、きらっと光る“神川の郷”です。

申請者： 壮年ソフトボール神川リーグの神川地域を活性化するための事業です。よろしくお願いします。(説明)

会長： 何か質問ありますか。

委員： 目的が神川地区の親睦がメインになっているようですが、歴史を地域全体に幅広く伝えていくようにしたらいいのではないですか。

申請者： 皆さんに知っていただけるよう、看板等設置して広報していきます。

委員： 神川合戦とありますが、他の地区にもいろいろな類似の活動もあると思います。どう感じていますか。

申請者： 他の地域の方のお話を聞いたり、参考にしながら進めてまいりたいと思います。

会長： 他にありますか。なければ以上で終了します。ありがとうございました。

【申請者 5】

申請者： まちなか健康推進会議のまちなかコミュニケーションから始まる健康寿命の促進事業です。よろしくをお願いします。(説明)

会長： 質問はありますか。

委員： 事業イベント等の広報はどのようにされる予定ですか。

申請者： 自治会や地域の方々に呼びかけていきたいと思っています。

委員： 周りの関係機関の方との調整、継続についてはどうお考えですか。

申請者： 地域の方や多くの方々の賛同を得て継続できるよう頑張ります。

会長： 他にありますか。なければ以上で終了します。

【申請者 6】

申請者： 木町自治会の幕末の志士「赤松小三郎」生誕の地を生かした歴史回遊のまち木町です。説明します。(説明)

会長： 質問ある方をお願いします。

委員： のぼり旗はどのように付ける予定ですか。

申請者： 案内板付近、街行く人の目にとまるように検討して付けたいと思います。

委員： 案内板の見積りが二つありますが、二つ作るのですか。

申請者： 業者に全てお願いするのではなく、自分達でも作るように二つあります。

会長： 他にありますか。なければ以上で終了します。

(4)その他

事務局： 上田中央地域協議会だよりを編集、発行いたしました。4月1日付けの定期送達で中央地域内全戸配布されます。ご確認いただきたいと思います。

全プレゼンテーション終了後、採点集計、各事業別に審査を実施。(審査会は非公開)

終了後解散。